

1年間の活動成果披露

津山商高3年生
課題研究発表会 調査・研究・実習

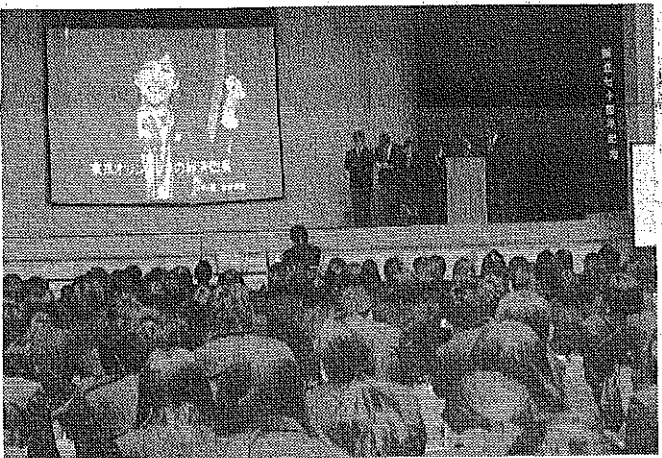
津山商業高校(山北)で6日、「課題研究発表会」が開かれ、3年生が興味や関心のあるテーマで1年間取り組んだ調査・研究・資格取得、実習の活動成果を披露。2、3年生約380人が熱心に耳を傾けた。

最初に「ベンチャー

ビジネス」を選択しコイの養殖に挑戦した生徒たちが、シンガポールでの販売体験を報告。続いて「映像制作」「秘書実務」「ITパスポート」といった9講座の発表を次々に行った。

そのうちの「地域企業」では、美作地域にあるエハラ食品工業、

山田養蜂場、共和機械ハヤセなど11社を訪問して知った仕事内容、全国的な製品をつくっていることなどを紹介。そして「身だしなみやあいさつが大切だということを実感した」「就職活動の役に立った」と感想を述べた。また、ネットワーク概論など3講座はポスター



津山商高生による課題研究発表会

セッション形式で実施した。

最後に吉備国際経営社会学科の姜明求教授が講評し「発表するときには紙を見ずに皆さんの目を見て、元氣よく声を出すように」と指摘。プレゼンター

セッション能力の高かった2講座を挙げた。